

# 予 算 特 別 委 員 会

予算特別委員会は議員全員で構成し、委員長に古川愛明委員、副委員長に深澤秋子委員を選出し、3月14日から4日間にわたり、一般会計予算のほか各特別会計予算の計8件の審査を行いました。

一般会計の歳出では、釜石国際外語大学校への補助金、港湾振興など多くの質問がありました。そのほか、DX推進、公共交通対策、新庁舎建設など各種事業が計上されています。

令和6年度一般会計予算は、審査経過報告の後、原案の採決を行い、全員が賛成で可決となりました。このほか、予算特別委員会に付託された予算は、すべて原案のとおり可決しました。

予算特別委員会の審査の動画は、閲覧からご覧いただけます。



歳入

繰入金

企業版ふるさと納税

問

企業版ふるさと納税について令和5年度の寄付を頂いた企業数と金額、またこれまで復興支援でつながった企業への営業実績はあるか。

答

令和5年度の実績は7社で2800万円の寄付をいただいた。営業に関しては、ラグビー未来基金でつながった企業に案内を行ったほか、市長が直接企業訪問し、寄付につながった例もある。今後各課でつながりのある企業に対し営業活動を行っていく。

歳出

総務費

高等教育機関運営支援

問

当初の目的は、高校卒業後の進路の1つとして教育機関を誘致することであった。機能と入学者の数が支出金額と見合っていない。当初の目的は守られているか。

答

人口減少や少子高齢化への対応として地元定着や地域振興につなげる目的がある。当初期待した状態ではないが、目的からずれている認識はない。先方法人と議論を重ねて事業の推進に取り組む。

防災関係諸費

問

昨年は、防災会議女性委員意見交換会の開催があったが、今年度は予定されていないが。

答

予算は減額されているが、女性委員の皆さんから要請があればそ

のつど適宜開催していきたい。また国際女性デーの集會に招かれ「防災」についての講話の予定がある。

空き家対策

問

危険空き家除却工事補助金として3件分150万円が計上されている。所有者の自己責任で処理すべきと前市長は答弁していたが整合性を問う。

答

危険空き家除却工事費のうち補助金50万円を超える分は所有者負担だ。行政代執行では市が費用を一旦負担し後に回収するが、危険性や緊急性から所有者が不明のまま着手する場合もあり、なかなか回収には結びつかない現状だ。